




Dell Peripheral Manager

ユーザースガイド



メモ、注意、警告

-  **メモ**：PCをより使いやすくするのに役立つ重要な情報を示しています。
-  **注意**：手順に従わないと、ハードウェアの損傷やデータの損失につながる可能性があることを示しています。
-  **警告**：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

Copyright © 2021 Dell Inc.その関連会社。All rights reserved. (不許複製・禁無断転載) Dell、EMC、およびその他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

2021 – 06

改訂 A06

内容

概要	4
ダウンロードとインストール	5
ユーザー インターフェイス	7
一般的な機能	8
デバイス状態	8
ソフトウェアアップデート	9
機能 : キーボードとマウス	10
DPI 設定	10
プライマリー マウス ボタン	11
アクションの割り当て	12
デバイスのペアリング	13
デバイスのペアリング解除	15
機能 : Web カメラ	17
Web カメラの設定	17
カメラコントロール	18
色とイメージ	19
存在検出	20
キャプチャ	22
Web カメラに関する FAQ	23



概要

Dell Peripheral Managerでは、次の機能がサポートされています。

- RF dongleまたはBluetoothを介して、デバイスのペアリング/ペアリング解除を行います。
- カスタマイズ可能なアクション ボタンにショートカットを割り当てます。
- ファームウェアのバージョンおよびバッテリーの状態など、詳細なデバイス情報を表示します。
- Webカメラを設定し、その機能を使用します。
- 最新のアップデートを使用して、ソフトウェアとデバイスをアップグレードします。

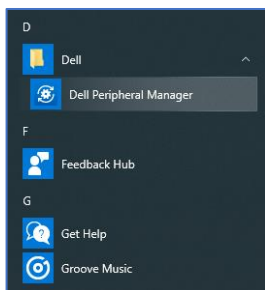
Dell Peripheral Managerには、次のDell周辺機器との互換性があります。

- Dell MS3220
- Dell MS3320W
- Dell MS5120W
- Dell MS5320W
- Dell KM7120W (KB7120W, MS5320W)
- Dell KM7321W (KB7221W + MS5320W)
- Dell KM5221W (KB3121W + MS3121W)
- Dell MS7421W
- Dell WB7022

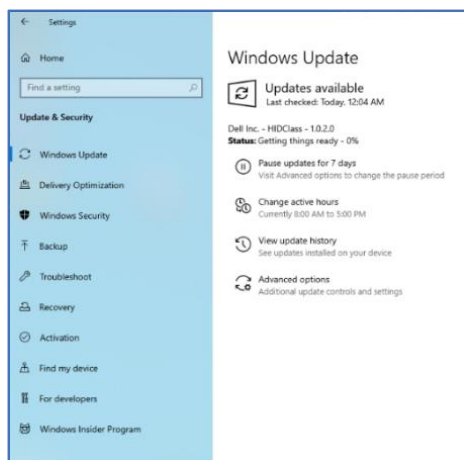


ダウンロードとインストール

デバイスをPCに初めて接続する際に、Windows Updateプロセスを介して Dell Peripheral Managerが自動的にダウンロードされ、インストールされます。



メモ : Dell Peripheral Managerが数分以内に表示されない場合は、アップデートをチェックしてソフトウェアを手動でインストールすることができます。



Dell Peripheral Managerアプリケーションをwww.dell.com/support/driversからダウンロードすることもできます。

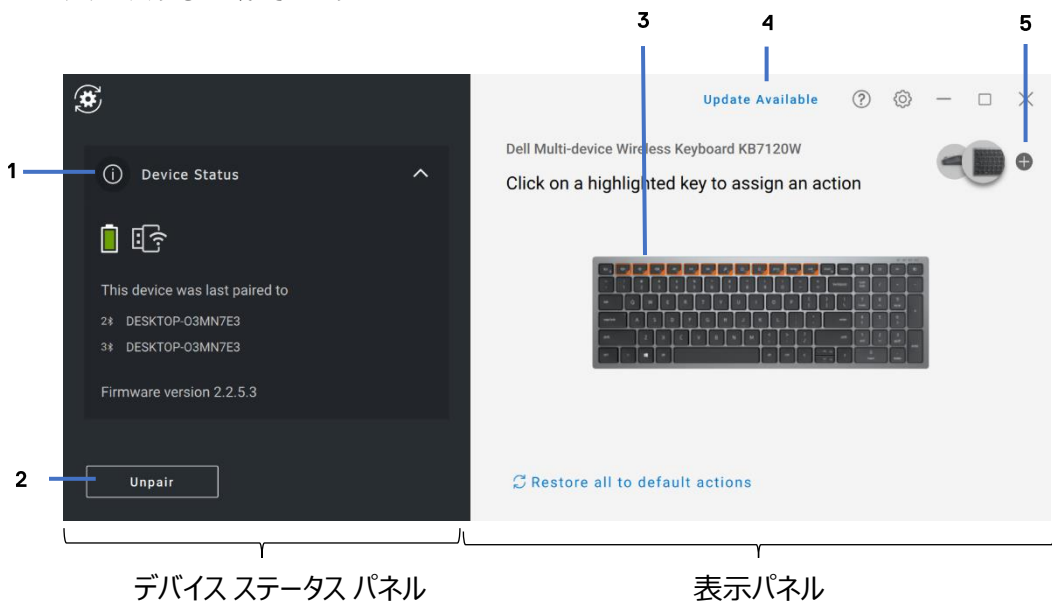
<https://www.dell.com/support/kbdoc/000128900/>で、オンラインの『Dell Peripheral Managerの使用方法和トラブルシューティング ガイド』を表示することもできます。



ユーザー インターフェイス

デバイスがPCのアクティブなUSBポートに初めて接続されると、Dell Peripheral Managerのユーザー インターフェイスが自動的に開きます。[Dell] > [Dell Peripheral Manager]の順にクリックして、ユーザー インターフェイスを開くこともできます。

ワイヤレス デバイスに同梱されているDellユニバーサル ドングルは、そのワイヤレス デバイスと一緒に使用するためにあらかじめペアリングがされています。PCのアクティブなUSBポートに dongle を接続した後、Dell Peripheral Manager ウィンドウでデバイスにアクセスすることができます。



1 デバイス状態

2 デバイスのペアリング解除

3 ハイライトされたキーへのアクションの割り当て

4 ソフトウェア アップデート

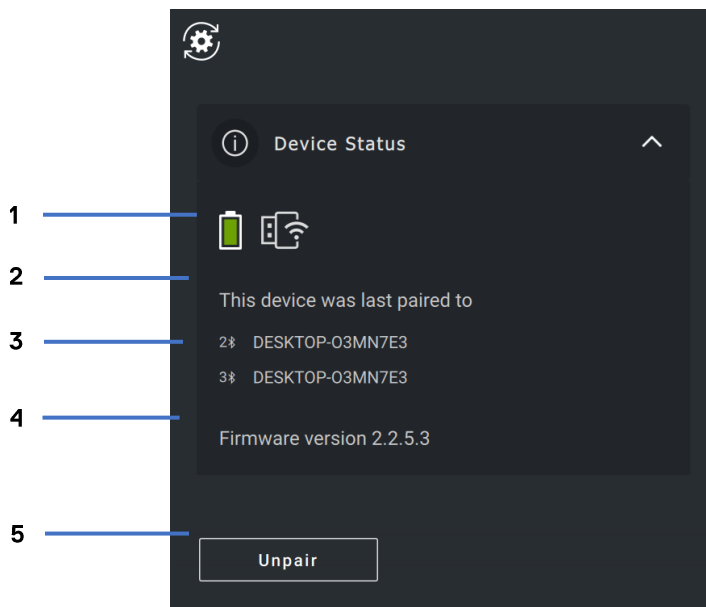
5 デバイスのペアリング



一般的な機能

デバイス状態

「デバイス状態」では、次の詳細情報を表示できます。



- 1 バッテリー持続時間インジケータ
- 2 接続インジケータ
- 3 Bluetoothペアリング履歴
- 4 ファームウェアバージョン
- 5 デバイスのペアリング解除



メモ : RF接続インジケータの上にポインタを移動して、ドングルのバージョンを表示することができます。



ソフトウェアアップデート

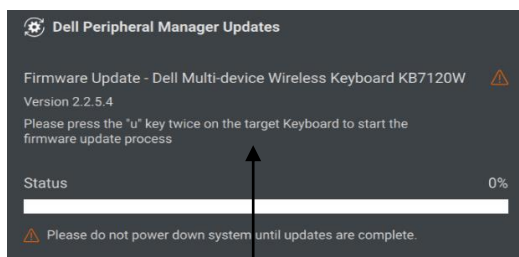
ソフトウェア アップデート機能は、次のアップグレードに使用されます。

- 周辺機器で実行されているソフトウェア。
- Dell Peripheral Managerアプリケーション自体。

メイン ウィンドウで **[利用可能なアップデート]** をクリックして、利用可能なアップデートのリストを表示します。



メモ : RFデバイスのソフトウェア アップデートには、アクティブ ユーザーによる入力が必要です。



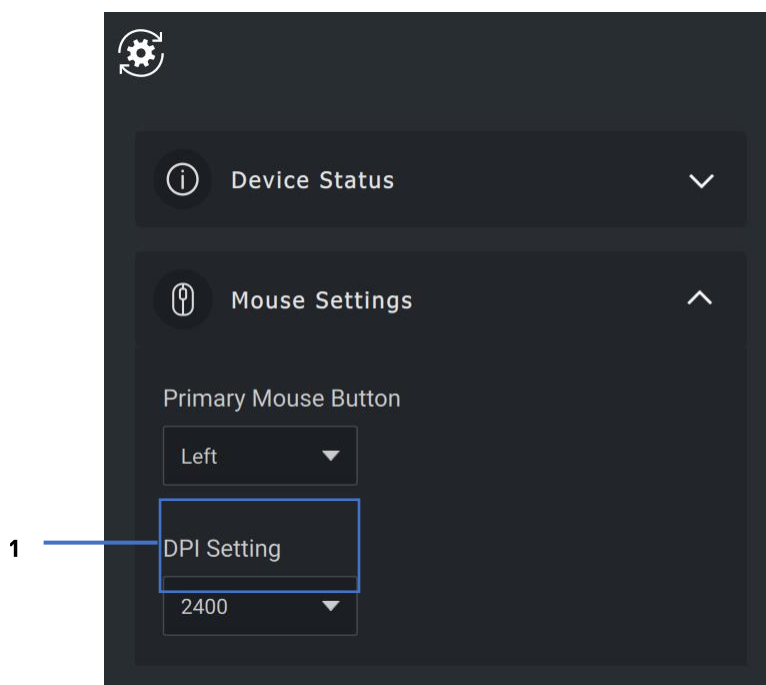
プロンプトに
従ってください。



機能：キーボードとマウス

DPI設定

[マウス設定] セクションで [DPI設定] を表示または変更して、マウスの感度を増減させることができます。[DPI設定] の下にあるドロップダウン ボックスをクリックして変更してください。設定を変更した後、マウスを動かして、新しいDPI値をマウスに適用してください。

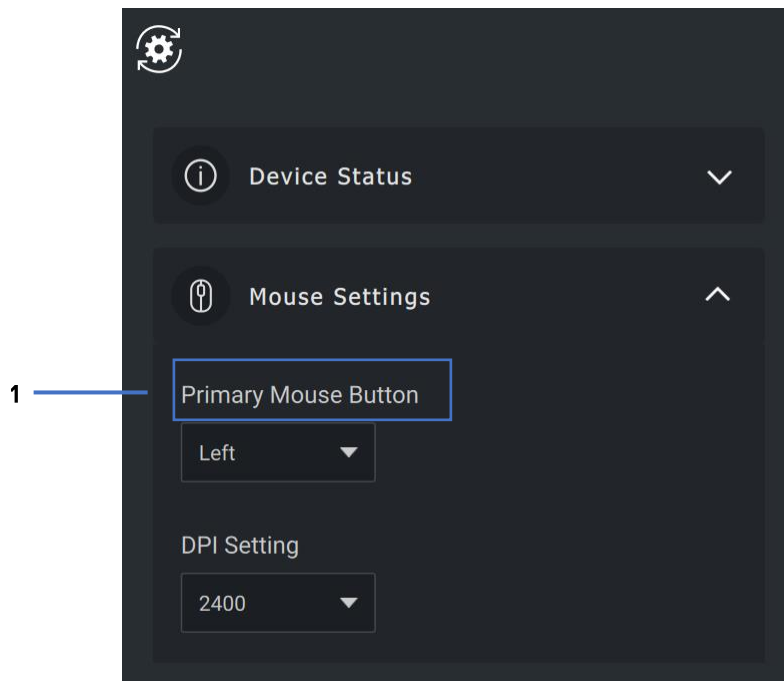


1. DPI設定



プライマリー マウス ボタン

[マウス設定] セクションで、[プライマリー マウス ボタン] 設定を表示または変更できます。変更するには、ドロップダウン ボックスをクリックしてください。



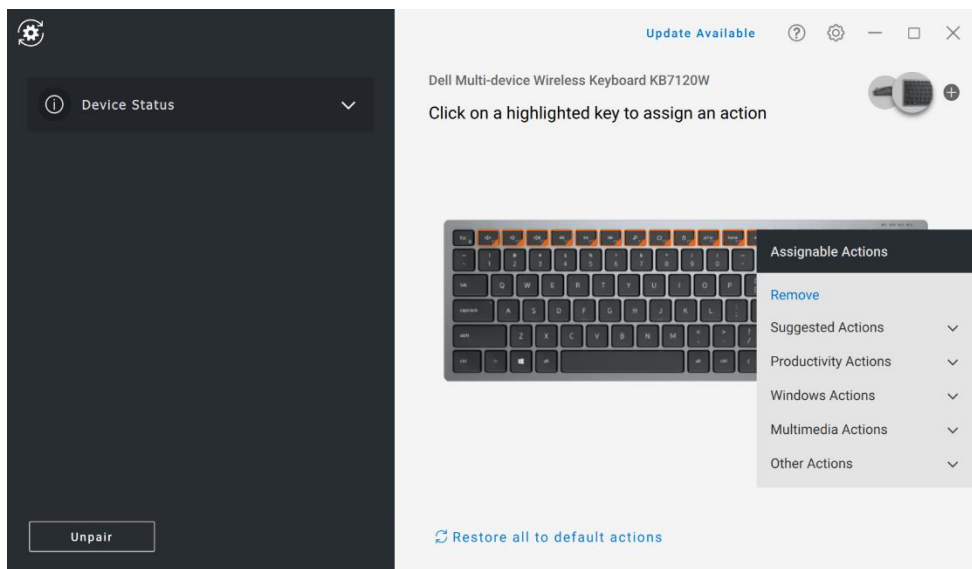
1. プライマリー マウス ボタン



アクションの割り当て

ハイライトされたキーを使用して、プログラム可能なアクションをボタンまたはキーに割り当てることができます。

たとえば、CTRL+Aキーストローク（Windowsではすべてのアクションを選択）をF10キーに割り当てることができます。その結果、CTRL+Aの代わりにF10キーを押すことができます。



ユーザー インターフェイスはシンプルで直感的です。

- オレンジ色の枠で囲まれたボタンは、カスタムプログラム可能なアクションを割り当てることができるボタンです。
- ボタンの右下隅にあるオレンジ色の「フラグ」は、カスタムアクションが割り当てられていることを示します。

アクションは、次の方法でカスタマイズできます。

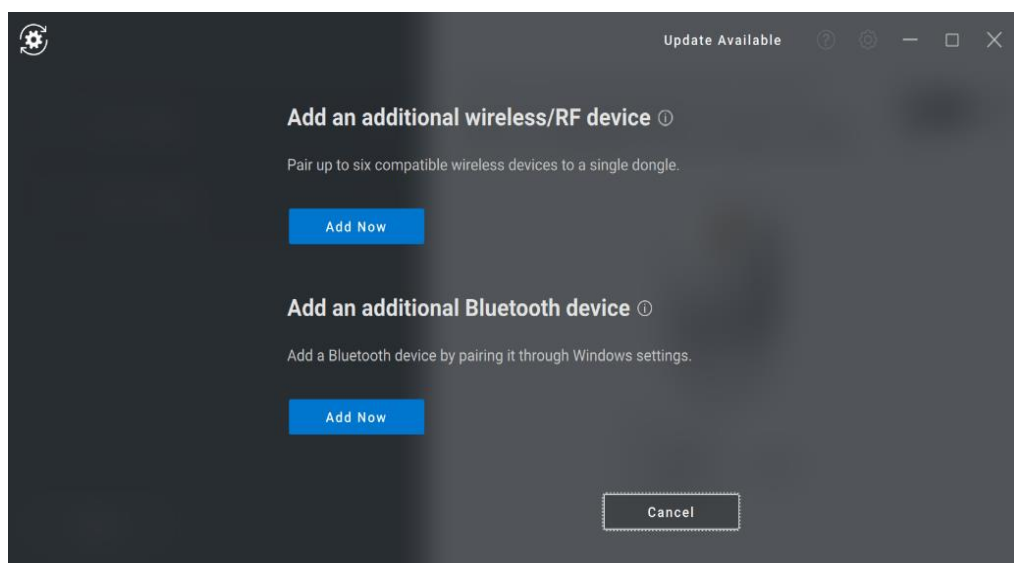
- 右側のペインでボタンをクリックし、アクションを直接割り当てます。



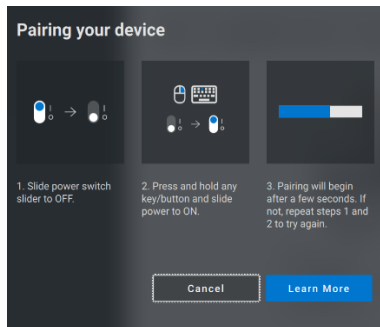
デバイスのペアリング

Dell Peripheral Managerを使用すると、RFを介して dongle に対し追加のデバイスのペアリングを行うことができます。また、このアプリケーションでは、Bluetoothを介してPCに対し追加のデバイスのペアリングを行う手順が画面上で説明されます。

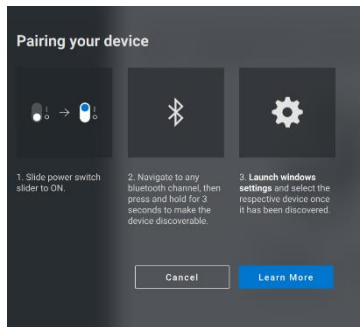
表示パネル上の**+記号**をクリックします。新しいデバイスを接続するためのダイアログボックスが表示されます。



RFおよびBluetoothの両方のオプションを使用して新しいデバイスのペアリングを行う簡単な手順が画面上で説明されます。



RF

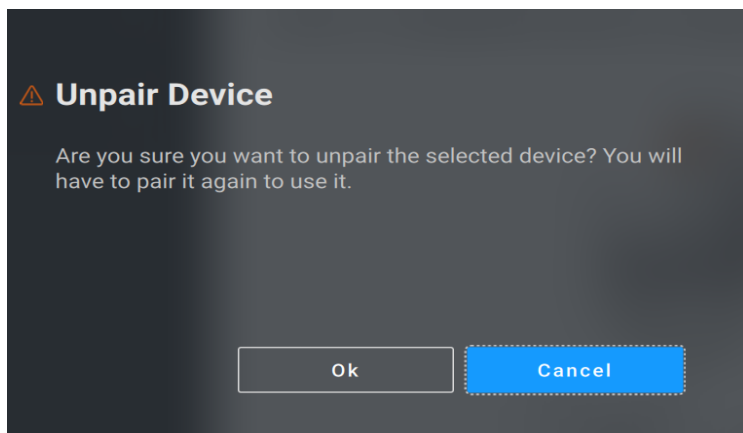


Bluetooth



デバイスのペアリング解除

[ペアリング解除] をクリックすると、[デバイスのペアリング解除] ダイアログ ボックスが表示されます。

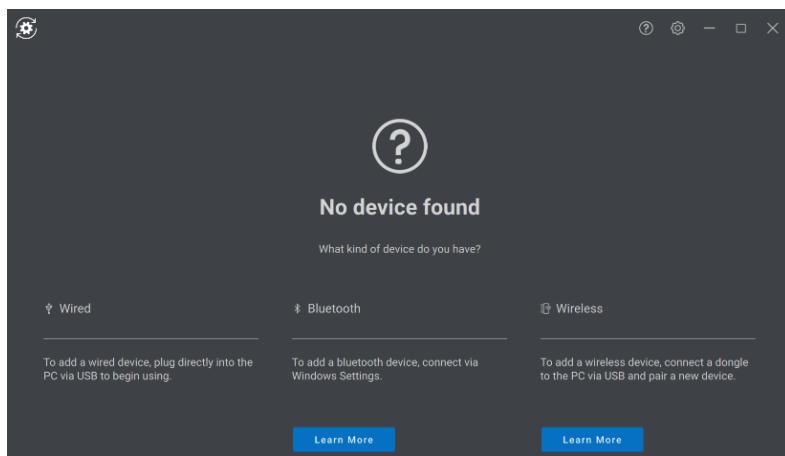


注意 : ペアリングを解除すると、デバイスは使用できなくなります。入力デバイスと再度ペアリングを行うには、追加のデバイスが必要になります。

たとえば、バックアップ マウスまたはタッチスクリーンやトラック パッドなどのその他のデバイスが使用可能であることを確認します。



接続されているDell製デバイスがない場合は、Dell Peripheral Managerウィンドウが次の図のように表示されます。



内部使用：機密事項



機能 : Webカメラ

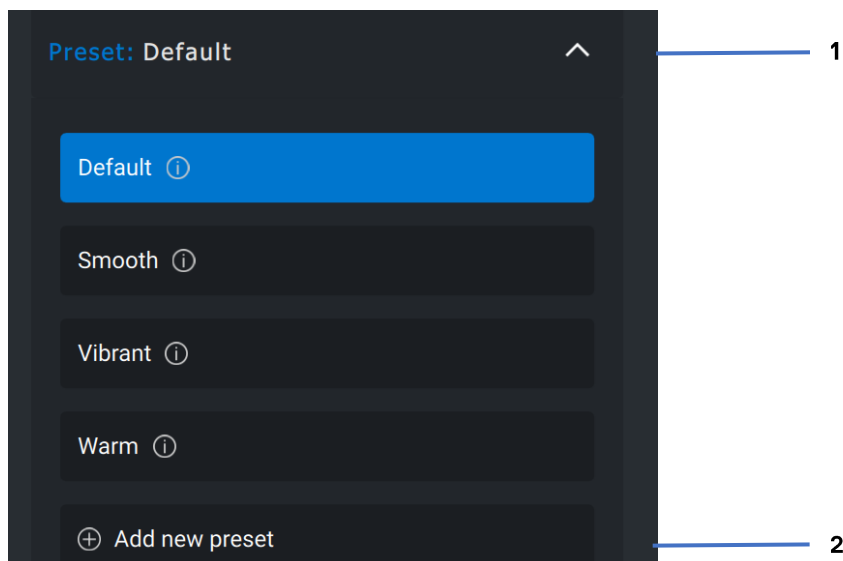
Webカメラの設定

Dell Webカメラは、Dell Peripheral Managerソフトウェアを使用して設定できます。このアプリケーションでは、画面上の指示と段階的なレクチャーが提供され、Webカメラの操作方法をカスタマイズできます。

Dell WebカメラがPCに接続されると、ライブ カメラ フィードが表示パネルに表示されません。

Webカメラには次の設定を構成できます。

用意されたオプションの中から、カメラでの画像の見え方に応じて、自分のスタイルに適したプリセットを選択できます。カスタム プリセットを作成することもできます。

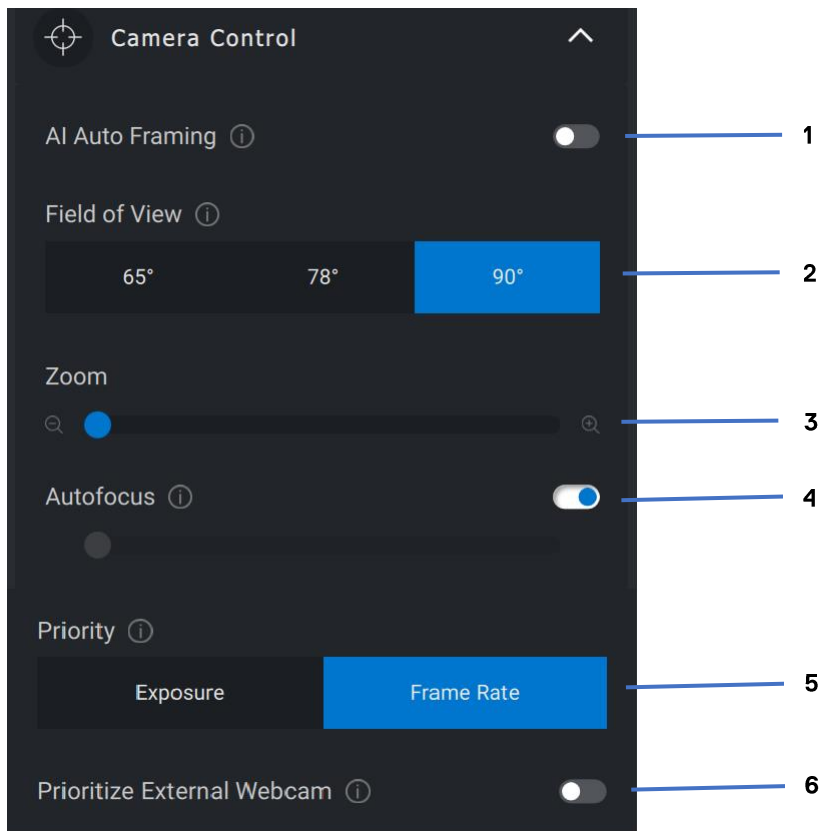


- 1 選択したプリセット
- 2 新しいプリセットの追加



カメラコントロール

ユーザー インターフェイスの [カメラコントロール] セクションで、AI自動フレーミング、視野、ズーム、オートフォーカス、優先度の設定、カメラ スイッチを調整できます。

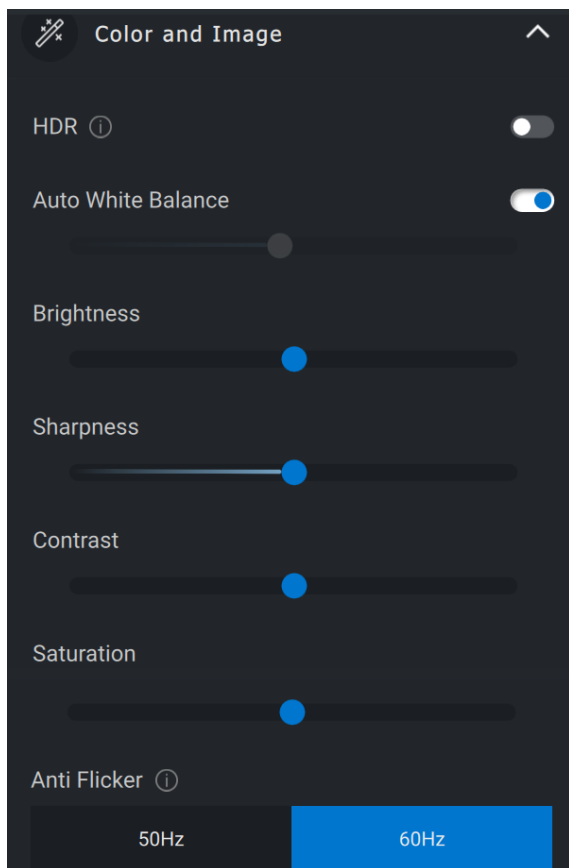


- 1 AI自動フレーミング
- 2 視野 (FOV)
- 3 ズーム
- 4 オートフォーカス
- 5 優先度：露出またはフレームレート
- 6 外部Webカメラを優先する



色とイメージ

HDR（ハイダイナミックレンジ）を使用して、さまざまな照明条件で最適な画質になるように自動補正することができます。Dell Webカメラのオートホワイトバランス、明るさ、シャープネス、コントラスト、彩度、アンチフリッカー設定などのその他の設定により、望みどおりの画像がより撮影しやすくなります。これを実現するために、ユーザーインターフェイスはシンプルで直感的なものになっています。

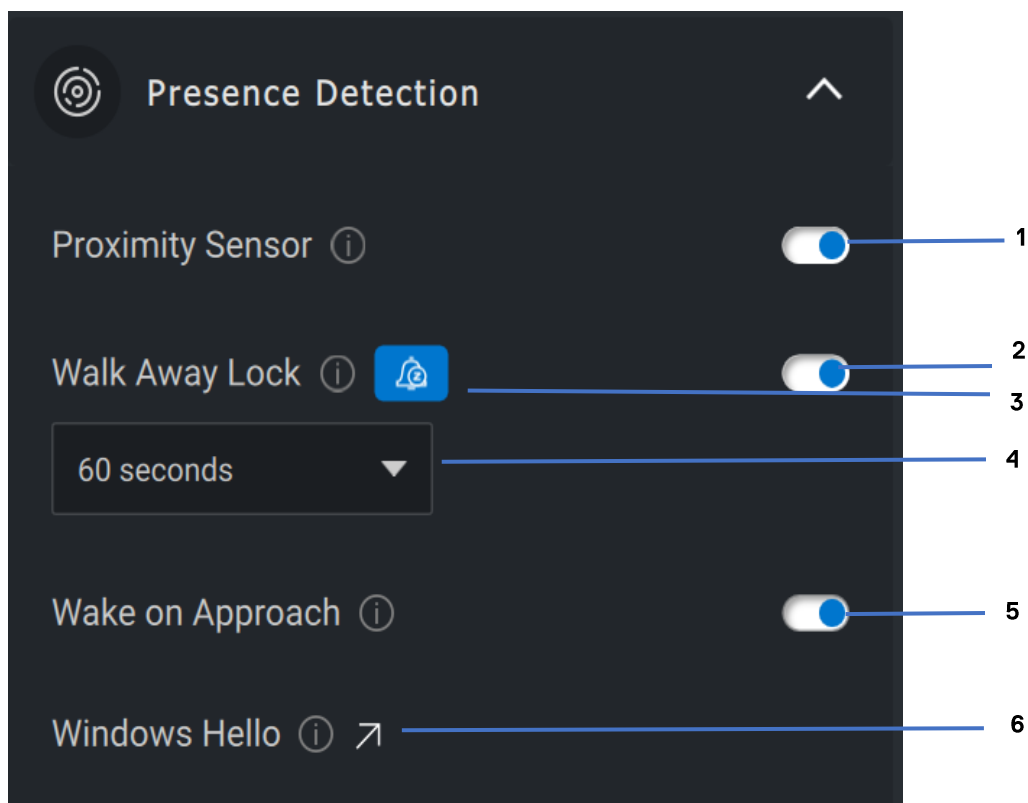


存在検出

カメラには近接センサーが搭載されており、センサーの視野内に人がいる場合、その人の存在を検出します。

- 人の存在に反応して、人が視野に入った時に画面が立ち上がります（接近時ウェイク）
- 人が立ち去った時に、画面をロックすることもできます（立ち去り時ロック）。立ち去り時ロックを作動させるタイミングは、[立ち去り時ロック] 設定の下にあるドロップダウン ボックスを使用して設定できます。
- これらの設定は、ユーザー インターフェイスで近接センサーが有効化されている場合に有効になります。
- 立ち去り時ロックの設定は、ユーザー インターフェイスの [スヌーズ] オプションを使用することで、一定の期間、一時的に無効にすることができます。



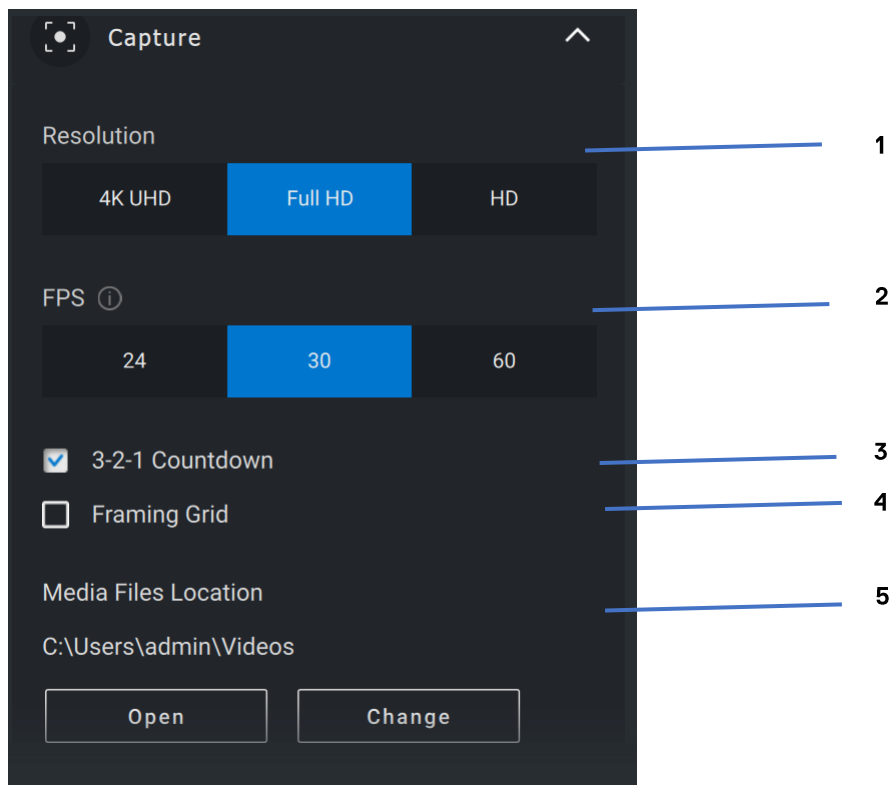


- 1 近接センサー
- 2 立ち去り時ロック
- 3 立ち去り時ロックのスヌーズ
- 4 立ち去り時ロックのタイマー
- 5 接近時ウェイク
- 6 Windows Hello



キャプチャ

Dell Webカメラのキャプチャー設定は、1秒あたりのフレーム数と解像度を調整することで、最適な録画体験が得られるように調整できます。また、メディア ファイルの保存先フォルダーを変更することで、録画したファイルの保存場所を設定できます。



- 1 解像度
- 2 1秒あたりのフレーム数
- 3 キャプチャー時のカウントダウン
- 4 フレーミング グリッド
- 5 メディア ファイルの保存場所



Webカメラに関するFAQ

Webカメラで問題が発生した場合は、次のいずれかに該当するかどうかを確認し、提案されている回避策を試してください。

- **質問：** DPMのユーザー インターフェイスに4KUHDオプションが表示されないのはなぜですか？

考えられる原因： Webカメラで4Kの解像度を出力するためには、USB 3.0が必要です。USB 3.0接続が検出されない場合、この問題が発生する可能性があります。Webカメラに接続されているシステム、モニター、またはハブのUSBポートがUSB 3.0であることを確認してください。

- **質問：** ドッキング ステーションを介して接続されている際に、DPMがカメラを検出できないのはなぜですか？

考えられる原因： ドッキング ステーションからUSB経由で十分な電力が供給されていない可能性があります。ドッキング ステーションのファームウェアが古くなっている可能性があります。ドッキング ステーションのファームウェアが最新のバージョンにアップデートされているか、USBポートでUSB 3.0のフル パワーをサポートできているかを確認してください。



- **質問：** 存在検出機能がDPMに表示されないのはなぜですか？

考えられる原因： この機能はDell製システムでのみサポートされるということにご留意ください。システムのBIOSおよびドライバーがDellサポートサイトから最新バージョンにアップデートされていることを確認してください。

- **質問：** 内蔵のWebカメラやシステムに接続されている他のWebカメラが無効になっているのはなぜですか？

考えられる原因： 外部Webカメラを使用したWindows Hello顔認識機能をサポートするために、Dell Peripheral Managerソフトウェアによって内蔵Webカメラやその他の非Dell製のWebカメラが無効になっている可能性があります。他のWebカメラを使用するには、DPMアプリケーションの [カメラコントロール] で [外部Webカメラを優先する] 機能を確認し、この機能の無効/有効を切り替えてください。

- **質問：** カウントダウンが始まり、PCがその直後にロックされたのはなぜですか？

考えられる原因： Webカメラには、近接センサーと呼ばれる存在検出センサーが搭載されています。指定された期間にわたって視野内に人の存在がセンサーによって検出されない場合、システムをロックすることができます。この機能が「立ち去り時ロック」です。この機能は、Dell Peripheral Managerアプリケーションの [近接検出] で制御できます。人の存在を検出できなくなりますので、[近接検出] 機能が有効になっている場合は、Webカメラのレンズを覆わないようにしてください。



Dell製システムの特定のモデルには、組み込み型の近接センサーが搭載されています。そのようなシステムをお使いの場合は、競合する動作を回避するために、Dell Peripheral Managerアプリケーションでこの機能を無効にすることをお勧めします。

- **質問**：システムにDell Peripheral Managerアプリケーションをインストールできないのはなぜですか？ 例：ARMベースのMicrosoft Surface Pro。

考えられる原因：Dell Peripheral Managerアプリケーションは、Windows 10 64ビット オペレーティング システムでのみサポートされていることにご留意ください。Windowsドライバーを使用する技術をベースとしているため、ARMベースのPCはサポートされません。

- **質問**：私が近接センサーの視野内にいても、システムが接近時ウェイク（WOA）しないのはなぜですか？

考えられる原因：ユーザーが視野内に現れる前に、視野（FOV）から20秒以上離れていない場合、接近時ウェイクは起動しません。

また、バッテリー モードのS3システムや、BIOSでUSBウェイク アップが有効になっていない場合、システムが休止状態またはシャットダウン モードになっている場合は、接近時ウェイクは機能しません。



- **質問**：カメラを素早くホットプラグで接続した後に、Webカメラのフィードが表示されないのはなぜですか？ Webカメラを外し、再接続してリカバリーする必要がありますか？

考えられる原因：Webカメラの取り外しと接続が速過ぎると、Microsoftフレーム サーバーはWebカメラのリソースを使用してデバイスをロックします。この状態になると、5～10分間は他のアプリケーションがWebカメラにアクセスできなくなります。Webカメラを取り外してから少なくとも10秒間待ち、その後再びシステムに接続してください。

